

電子情報システム工学専攻			電子情報システム工学特別研究				
学年	専攻科1年	担当教員名	野口 孝文				
単位数・期間		6単位	通年	週当りの開講回数	2回	専門展開・必修	学修単位3
授業の目標と概要		研究の遂行を通して高度な専門知識や実験技術を修得し、継続的に学習する能力を育成する。研究・設計などの活動における知識や技術の必要性を認識する。さら、研究遂行において修得した知識や技術をもとに創造性を発揮し、計画的に実行する能力、論文作成・研究発表により文章表現力、プレゼンテーション、コミュニケーション能力を育成する。					
		釧路高専目標	B:10%,D:25%,E:0%,F:10%,G:15%		JABEE目標	d-2-b,d-2-c,d-2-d,e,f,g	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		特別研究は本科の卒業研究を含む3年間、あるいは、専攻科の2年間をとうして一つの課題に取り組むものであり、長期間にわたる。指導教員の指示だけでなく、自発的に計画的に遂行することに心がけること。					
到達目標		論文調査などにより、研究の背景、社会のニーズなどを理解できる。課題解決を計画的に遂行できる。研究成果の社会への影響を考察できる。日本語による論理的な報告書作成とプレゼンテーション、英語による概要説明ができる。					
成績評価方法		特別研究は2年間にわたるため、別紙の評価方法によって全体を評価する。 1年目では評価を決定しない。 別紙評価方法に従い、60点以上で合格である。					
テキスト・参考書		各指導教員の指示による					
メッセージ		長期にわたり、一つのテーマを追求するので、自発的な学習、創造性の発揮、計画的な遂行が重要である。指導教員との話し合いを密にし、定常的な学習・研究が必要である。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
1 研究計画の検討・立案 2 文献調査				研究計画の立案ができる。 文献を調査し、内容を理解できる。			
前期中間試験				実施しない			
3 文献調査				文献を調査し、内容を理解できる。			
前期期末試験				実施しない			
5 実験装置の基本設計または理論計算とシミュレーション				文献を調査し、内容を理解できる。 実験装置の基本設計または理論計算とシミュレーションができる。			
後期中間試験				実施しない			
6 実験装置の設計・製作 7 予備実験および実験装置の改良				実験装置の設計・製作・実験ができる。			
後期期末試験				実施しない			